

音楽祭テーブル実施記録
(元町通り社会実験)

実施 2026年5月3日から5日
報告 2026年5月11日
一般財団法人武蔵野市開発公社

1 音楽祭テーブルの概要

(1) 都市再生推進法人としての役割と目的

都市再生推進法人として、「市道第 189 号（元町通り）における新たな公共空間の在り方の模索」と「吉祥寺元町通り商店街振興組合（以下、「元町通り商店会」という）・三菱商事都市開発株式会社（以下、「MCUD」という）・武蔵野市開発公社（以下、「開発公社」という）の連携関係によるエリアのにぎわい創出」を目的に、吉祥寺グランドデザイン 2020 にも描かれた「まちなかにおける滞留空間」や NEXT 吉祥寺 2021 で示されている「まちなかの快適な居場所づくり」を創出する実験として位置づけ、2022 年 10 月に開発公社及び元町通り商店会の共催、2023 年 4 月より元町通り商店会の主催で実施した。第 8 回目となる今回は、吉祥寺ダイヤ街商店協同組合も主催として加わっての実施となった。また、吉祥寺音楽祭と同時実施ということもあり、名称を「音楽祭テーブル」と改めて実施した。なお、今回も同期間の中で平和通りでも同時に平和通りテーブルを実施するタイミングがあり、吉祥寺の街に広がりを見せている。

(2) 実施主体

主催：吉祥寺元町通り商店街振興組合、吉祥寺ダイヤ街商店協同組合

(3) 開催日時

2026 年 5 月 3 日（日） 12 時～18 時

2026 年 5 月 4 日（月） 12 時～18 時

2026 年 5 月 5 日（火） 12 時～18 時

(4) 開催場所

- ① 武蔵野市道第 189 号（元町通り）の一部 ※吉祥寺本町 1-11-5 地先（コピス吉祥寺 A 館前）
- ② 武蔵野市道第 190 号（元町通りと 190 号線の交差点）の一部
- ③ 吉祥寺デッキ（コピス吉祥寺 A 館前と元町通りの間のウッドデッキ）

(5) 実施内容

- ① 道路の一部にテーブルセットを 5 セット、イーゼルを 2 台設置されていた。
- ② テーブルセットは誰もが自由に利用できるものとして運用されていた。

2 実施風景の写真



3 運営上の考察

(1) テーブル配置

今回は吉祥寺デッキ上に酒類の販売のテント及びその飲食スペースが設置され、コピス吉祥寺からの通行も確保したうえで、吉祥寺デッキと元町通りテーブルが一体となる形式で実施した。なお、テーブル利用者や通行者が窮屈になっている印象はなかった。

(2) 備品の保管について

コピス地下1階の吉祥寺デッキ倉庫にて保管していた。

(3) 天候との関連について

今回は実施時間に雨が降ることはなかったが、風が比較的強かったため、イーゼルが倒れてしまうなどの問題があり、重りを置いて対応していた。そういったなかでも、日中は高齢の方や子連れの家族、中高生など幅広い層に利用され、吉祥寺に来た方々が回遊する手助けになったのではないかと感じた。

以上